



吉沢やすひろ

討議資料

私 一般質問よりからの政策提案



一般質問及び議案質疑・委員会において、常に住民目線で皆さまからの「声」を届け、実現に向けた提案及び発言を行いました。

荒川河原について

Q 水難事故をなくすため閉鎖
(荒川) 立ヶ瀬河原は、水難死亡事故が10年で8件起っている大変危険な場所です。水遊びがしたくなる時期は犠牲者を1人として出さないために策を講じるべきですが、7月～8月は完全封鎖すべきでは。

A 外国語併記看板で注意喚起
外国の方の事故が多発していることから、注意喚起のため外国語併記の看板を設置。水難事故防止だけでなく、県から河川敷地の占用許可を得ることや水辺空間の活用も考慮する必要があると思います。



鉢形城公園内を通る町道117号線について

Q 人の命と文化財
町道117号線の一部は拡幅されておらず、大型車両がグリーンベルト上に片輪を乗せて走っている状態です。鉢形城の史跡であり、文化財保護の観点から拡幅できないとするのではなく、人の命より大切な文化財はないとの思いを、国、文化庁に理解を求めるべきと考えます。

A 町道117号線は、国の指定史跡内に設置されておりますことから、史跡の現状を変更する行為にしましては、国の許可を受ける必要がありますが、文化財の減失、毀損等の恐れがあり、国の許可基準に適合しないため、現状変更につきましては、許可を受けることが出来ないとされています。安心・安全な道路の確保のため、路面標示による注意喚起等、法令の範囲内で安全対策に務めてまいります。



町道3967号線、(通称)、ベルク通りについて

Q 新しくスーパーマーケットが町道3967号線南に出店され、これに併せ店舗駐車場に接している町道3967号線は、開発行為に伴い道路拡幅しました。開発行為に伴い拡幅した以外の東西の道路の改良工事はどうなっているのか。

A 本事業は延長230m、幅員9mの片側歩道を計画した道路で、現在までに約6割の用地買収が完了しておりますが、一部区間において用地取得が難航しているため、完成時期は令和5年度以降になる見込みです。

空き家対策について

Q 空き家解体費の一部助成は

増加している空き家を解体し、更地にすれば、防災・減災・防犯につながつほか、土地の賃借や売買の増など地域経済活性化の一つになると思いますが、費用が思いのほかかかっています。「住宅解体資金補助制度」なるものの導入は。

A 除却補助・税の減免等検討

空き家等の除却補助制度や固定資産税の住宅特例解除後の対応等、制度の導入に向け幅広く研究し、空き家等の除去で、防災・防犯、地域活性化のために役場組織を挙げ「抜本的対策」を講じます。



車幅制限杭について

Q 町道には現在、車幅を制限する杭が31箇所設置されており、杭の高さや太さは統一性がなく、杭の外側を通れないように金属製の柵が設置しているところもあります。全ての箇所で杭に自動車等でこすった傷がありました。このような車幅制限杭は、いつ頃設置されるようになり、又設置後に撤去されたものはどのくらいあるのか。その杭は必要なのか。又検討されたことはあるのか。車幅制限杭等があることで事故等が起きていないのか。その場合、道路管理者として責任を問われることはないのか。

A 杭の設置の時期及び撤去は、記録がない為不明です。道路構造の保全、あるいは地域の安全確保を図る観点から、車幅制限杭を設置していますが、道路整備等により制限する必要がなくなれば、地元役員と協議の上、撤去する箇所も出てくるものと考えております。車幅制限杭での事故についての報告は受けておりません。車幅制限杭を理由に事故の責任を問われることはないと考えますが、管理上の瑕疵があった場合は責任を問われる可能性があるので定期パトロール等において安全性の確認を行っております。



寄居町議会より令和5年度予算に向けての提言！

寄居町議会基本条例では、議会の役割として「事務執行の監視及び評価」、「町政の課題等に対する提言」を位置づけています。そのため、寄居町議会では、令和5年度予算に向けた提言書を下記の通り町に対して提出しました。

① デジタル化の推進について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や長期的な蔓延により、非接触型の行政事務などのデジタル化が求められている。また、国では昨年9月、デジタル庁を創設し、デジタル社会の実現に向けた取組みを加速させており、地方もこれら国の動きに即応し、高齢者に対するデジタルデバインド（情報格差）に配慮しつつ、デジタル化の推進を図り、住民サービスの質的向上や業務の効率化、行政改革等にスピード感を持って取り組んでいくことが求められている。このようなことから、当町においても、「デジタル化推進計画」に基づき、「マイナンバーカードの普及拡大」や「AI等を活用した業務の効率化」、「デジタルデバインド（情報格差）対策」など、行政分野のデジタル化の推進に向け、具体的な取組みを加速されたい。

また、議会と執行がともにタブレット導入に向けた準備を加速し、議会審議を停滞させないための資料提供やペーパーレス化、議会運営の活性化を図るためにも早期に具体的な取組みを調整されたい。

② コロナ禍等における地域経済への支援・強化について

新型コロナウイルス感染症の第7波の感染者は減少傾向にあるものの、未だに収束が見通せない状況にあることなどから、

地域経済への影響が長期化している。さらにウクライナ情勢等による世界的な物流の混乱や加速する円安などにより、原油や原材料、食料価格が高騰するなど、地方の中小企業・小規模事業者等は今より町民生活にも大きな影響を及ぼし、地域経済はさらに厳しい状況となっている。

このようなことから、国、県による補助事業等も十分に活用しながら、町独自の施策も検討し、地域の実情にあわせた経済支援施策の強化・拡充を図られたい。

③ 町道127号線及び118号線の早期完了について

町道127号線は、県道坂本寄居線と男衾地区の国道254号を直線的に結ぶ、当町の荒川南岸の主要町道であり、町の将来の発展には必要不可欠の道路である。

また、町道118号線は、鉢形小園地区の住民の長年にわたる念願であるが、いまだにいつ完成するのか不透明な状態が続いている。まずは、今後の工事完成までのスケジュールを示し、町民の不安を取り除くべきである。

町道127号線及び町道118号線の完成は、広域的連絡機能を強化し利便性と安全性を向上させ、地域交通の円滑化を図ることになることから、あらゆる財源を検討し、早期の完成に努められたい。

吉沢は寄居のために、寄居はみんなのために

輝く寄居町を創りたい！

県道広木折原線の早期拡幅整備に向け、花輪前町長に同行させていただき、埼玉県へ要望活動いたしました。



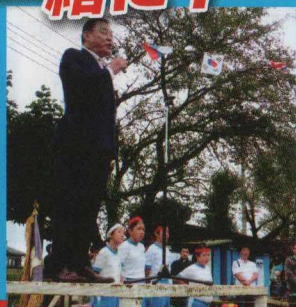
どんな事でも現場を確認！

皆さまからのご要望は、どんな小さな事でも必ず現場を確認させていただき、解決に向け全力で行動します。



皆さんといつも一緒に！

寄居町が好きだから、寄居町内で行われる行事には欠かさず参加をし、地域の皆様と行動を共にします。



吉沢やすひろ 私の履歴書

昭和 34 年(1959 年)2 月 1 日生まれ。

地元折原小学校、城南中学校、
熊谷商業高校卒業。

吉澤建設工業株式会社 勤務

柔道 二段 身長 182cm 体重 89kg

自由民主党 寄居支部長

埼玉県野球連盟 寄居支部長

寄居町スポーツ協会 副会長

元寄居町社会教育委員

元城南中学校 PTA 会長

元折原小学校 PTA 会長

平成 27 年 4 月 寄居町議会議員初当選

平成 27 年・28 年

文教厚生常任委員会副委員長

平成 29 年 総務経済常任委員会副委員長

平成 30 年 総務経済常任委員会委員長

平成 31 年 4 月 2 期目当選

令和 3 年 寄居町議会副議長

発行 〒369-1232 寄居町三品 398-1 吉沢やすひろ後援会事務所

寄居町政に関するご要望・ご意見を吉沢やすひろにお聞かせください。